

# 市議団ニュース

連絡先 2013年 9月1日号

木村奉憲 22-8567、杉野 修 58-9010

石田利春 52-7260、渡辺昌代 21-9058

【議員団控室（市役所 4F）の住所・久喜市下早見 85-3】

「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です



8月27日、議会運営委員会が開かれ、9月定例会の議案説明や日程などについての協議を行いました。（議案27件、報告2件）

この議会は、昨年度1年間の市政の決算審議が主に行われますが、党議員団では、合併後3年の検証としても力を入れます。また、国・安倍政権による社会保障切り捨ての冷たい政治に対し、「住民にあったかな市政を久喜から」の声を上げていく議会としてがんばります。



稲穂が実る風景

## 1. 子育てしやすい久喜市への取り組み

＊少子化対策、久喜市に子育て世代に住んでもらうための対策検討部（少子化対策チーム）を立ち上げるべきだが、＊子ども医療費の対象年齢の拡大、久喜市外の窓口払い撤廃の拡大を進めるべきではないか。

＊久喜西口側に、児童センターを作るべきではないか。＊子育てガイドブックの再編集は若い母親たちも参画すべきだが。



渡辺まみの議員 6日・金 2番目



西公民館での子育てボランティア



ミストシャワーの設置例

- 2. 高齢者ふれあいサロンの、みんなのおうち、ももの木などボランティアで運営して、家賃まで工面している実態である補助の増額をすべきだが。
- 3. 公民館の利用者数は、減少してきている。向上を目指すべきではないか。公民館は無料にすべきだが。
- 4. 地域交流センターの清掃は、利用予約可能な時に行うのではなく、時間帯の工夫をすべきではないか。
- 5. 久喜市本庁舎の空調機の時間延長と改修を早急にすべき、今年も猛暑の中30度を超える労働環境は改善すべきだ。
- 6. 各小中学校の校庭の入り口付近に、ミストシャワーを取り付けるべきと考えるが。



木村ともりの議員 9日・月 4番目

## 1 社会保障制度解体の狙いと影響

安倍政権による消費税増税を伴う経済再建は国民への痛みばかりを強引に押しすすめています。具体的に社会保障制度改革国民会議は8月6日、消費税増税と一体で実施を狙う社会保障「改革」についての最終報告書をまとめ安倍首相に提出し、8月21日には「プログラム法案骨子」を閣議決定しました。

「報告書」は医療、介護、年金、保育など全分野で、給付抑制と負担増ばかりが目立つ内容です。このまますすめられれば、将来への希望が断たれ、命さえ奪われると多くの関係者から怒りの声が出されています。

また、「社会保障制度改革推進法」にもとづいて検討された社会保障制度の「改革」方向は、社会保障への国の責任を棚上げし、「自助」を原則とする制度への変質を目指すもので、社会保障制度そのものの解体へと導くもので許せるものではありません。その狙いと久喜市への影響どうなるのか追求します。

## 2 特別養護老人ホームの待機者解消に向けて

高齢者の居住環境や介護などをめぐる状況はますますきびしくなっています。安価で安心して入れる高齢者施設の増設を望む市民の声が出ています。

とくに特養ホームの待機者や運営、将来計画について、多くの課題や問題点ができています。このため、国と久喜市の状況を質問するとともに、待機者解消に向けた運営、将来計画について質問をします。

## 3 公務労働の位置づけと非正規雇用の改善に向けて

住民のいのち、健康、安全を守るといふ地方自治体の目的、行政の役割が今、いろんな場面で問われています。その中でその目的や役割をどのようにとらえ、行政サイドで住民の立場にたって行使し、実践していくのか。またその立場で実践していける条件や環境をどう整え、整備していつているのか検証し、充実・改善することが必要になってきています。

このため、公務員、公務労働の在り方について何うとともに、とくに久喜市の保育分野での非正規雇用の比率が多くなっている。この状況を改善し、安心して子育てができる環境整備を図ることを要求します。



# 石田としはる議員

9日・月  
2番目

## 南栗橋液状化対策 復興に向けた

### 取り組みについて

- ◆ 地下水位低下工法など実証実験が行われている。液状化対策市の姿勢を問う。
- ◆ 液状化対策を実施する範囲は南栗橋地域全体を対象に考えるべき。
- ◆ 住民3分の2の賛成が必要と条件があるが、実際には全員の方の賛成を得て進めるべき。その為に市は何をすべきと考えているか問う。
- ◆ 液状化対策事業で個別負担金の軽減に向けた財政措置を求める要望が出されているどの様に受け止めているか。



液状化対策実証実験は、液状化したこの場所で実施されている。

## 選挙で投票する機会を 平等に保障すべき

- ◆ 投票したくとも身体的な面から「棄権」せざるを得ない方をなくす必要がある。選挙の投票をやりやすいように改善すべきである。市の姿勢を問う。
- ◆ 入院中の方が申し出をすれば、どの病院でも投票を可能にすることはできないか。
- ◆ 郵便等による不在者投票ができる対象者の方である、介護認定が5の方や障がい認定が重い方には、個別に通知し、必要な書類など同封すべきと考えるがどうか。
- ◆ 投票所が遠いことや、段差があることなどから、棄権することが考えられる。改善すべきと考えるが。
- ◆ 10月からスタートする、デマンドバスは玄関口まで来てくれる。投票所はすべて目的地となっているか。投票に行く場合は利用料減免するなど考えられないか。

## 利根川の堤防強化事業に伴う 市の対応について

- ◆ 堤防強化に伴い家屋移転90%以上が完了。市はこれまで八坂神社の樹木では、神社側に協力を求めるとの答弁をしている。どのような対応をされているか。
- ◆ スーパーが閉店したことで、近隣の高齢者など買い物に困難を来している。市としても、生鮮食料品の買い物ができるよう、手だてを考えるべき。



# 杉野おさむ議員

6日・金  
4番目

## 青毛堀川の拡幅工事の 進捗と局所的豪雨への効果は

現在、進められている青毛堀川の拡幅工事は、県の事業であるが鷺宮地域での大雨水害被害の抑制効果が大きいので、関係住民は強い期待を寄せている。最近の「局所的豪雨」には現状の遊水池で、どれほどの「水ガメ効果」があるのか。また、完成はいつごろになるのか。

## 東大輪地区の「電波障害」被害 に対する行政の対応が遅い

と住民から強い苦情が寄せられている。先日の落雷時に、またもやテレビが映らなくなった。その際の市の対応が遅く、業者も「休み明けから」とのんびりだった。これをその日のうちに改修までこぎつけたのは、行政ではなく、住民みずからの奮闘であった。

6月議会では、共産党を含め、2人が改善を求め、市も「機敏に対応する」と答弁したばかりであった。「ぜんぜん変わっていない。危機意識がないのでは」と住民の弁。市は、もつと住民によりそった姿勢が求められている。

## 図書館まで指定管理に するのは問題では

市は、各種の公共施設に「指定管理者制度」を導入し始めている。来年は会館、スポーツ施設（プールなども）が、そして27年からは図書館が対象になっている。指定管理というのは、ある種の民間委託とも言える。公共の教育機関である図書館は住民の「知る権利」を保障し、どういう資料（図書）がいま地域に必要か、などを教育委員会が考えて提供するという非常に大事な業務である。

「経費を削減できるから」という理由をいうが、どれくらい削減できるのか、については検証もされていない。また、民間にゆだねた方がサービスが向上するから、というのは職員の能力や、「やる気」が問われていることになる。根本からの見直しを求める。



市立中央図書館

# 議会の日程

10月1日 (火)	24日 (火)	20日 (金)	19日 (木)	18日 (水)	17日 (火)	11日 (水)	10日 (火)	9日 (月)	6日 (金)	3日 (火)	9月
本会議 議員提出議案質疑 討論・採決	本会議 建設上下水道常任委員会 鷺宮総合支所にて開催	教育環境常任委員会	福祉健康常任委員会	総務財政市民常任委員会	本会議 市長提出議案質疑	市政に対する一般質問	市政に対する一般質問	市政に対する一般質問 石田としはる議員2番目 木村ともり議員4番目	市政に対する一般質問 渡辺まさよ議員2番目 杉野 修 議員4番目	本会議 市長提出議案の提案理由説明 市政に対する一般質問	日程内容